

私とボートそして仲間

18期 矢部光郎

第18期卒の矢部です。この度、現役部員、OBOG会の発展にご尽力されている現会長である下遠野さんより現役部員、OBOG会の更なる発展、活発化のためOBOG会への寄稿文書の依頼を受けましたので快諾して寄稿した次第です。

■私の履歴書

1960年6月横浜市生まれ

長女、次女、私の三人姉弟。

1966年4月横浜市立白幡小学校入学

2歳上の次女は小学校1年から6年まで全ての科目でオール5。どんな弟が入学してくるか先生も楽しみにしていたようですが、とんでもないわんぱく坊主が入学し、東急東横線は止めるは、卒業生の記念碑であるトーテンポールは電ノコで切るはとんでもない小学1年生。まさに問題児。学校で私の名を知らない先生は誰もいないほどでした。次女は相当苦労したと思います。

1972年4月浅野学園入学（中学時代は卓球部、高校時代はラグビー部）

部活を中学、高校で変えたのは中学時代に卓球にのめり込み過ぎて学業が疎かになり担任から「高校に進学したいのなら卓球部を辞めろ。」の一言でした。それほど成績は下から数えて数番目でした。

そのことを高校1年の担任が知っており担任が監督であったラグビー部に入部することになりました。

ラグビー部時代のポジションはプロップ、フッカー、ロック、スクラムハーフ以外は全て経験しました。

進学校でしたが勉強は一生できるがスポーツは若い時代しかできないと学業の悪さの言い訳として部活動に専念して日々を送りました。

1979年4月中央大学理工学部精密機械工学科入学

入学後、水道橋キャンパスで1年先輩の山口さんからボート部の練習見学を勧められ入部することになりました。

今でも覚えていることは

山口さん「一度、戸田オリンピックボートコースに見学に来ませんか？」

矢部「問題ありません。」

山口さん「それでは5日ほどの着替え、運動着を持参して。」

矢部「見学なのに・・・」

当日、いきなり体力測定、ボートコース1周タイムトライアル、入部。それから4年間理工漕艇部に所属しました。

120～130日/年合宿所生活を続けました。当然これまた学業は皆無です。

ここまでのまとめ「学生時代に学習した経験はほとんどなし!!学生時代＝部活動」と言ったところで、両親も勉強には無関心。勉強しろと言われた記憶はありません。

1983年4月株式会社CSK（現SCSK）入社

当時のCSKは社員数3千数百名程度でしたが、新卒採用者数は800名超えとイケイケゴーゴー企業でした。

800名採用の内、将来の幹部候補20名に選ばれ入社前研修と称してアメリカシアトル、サンフランシスコ、サンディエゴ、メキシコティファナ、ハワイ11泊13日で旅行に連れて行って頂きました。

当時、配属先はCSK Internationalに配属が決まっており国際戦略室勤務とのことでしたが、旅行先で置き引き、コールガールのホテル呼び込みなどの問題を起こし全員配属先変更となり、入社後は電子交換機のシステム開発に従事しました。

1988年12月結婚

長男、長女に恵まれました。

1990年10月同社退職

1991年2月株式会社インターコム設立、同社代表取締役となる。

1度目の倒産危機：Y市福祉システム開発を受注。大成功と思いきや2,000万円程度で受注した案件が実際の経費が8,000万円超となり資金繰りを圧迫、このままではインターコム破産と考えたY市担当者に資金の前倒し支払いに応諾して頂き、何とか乗り切りました。ただ、劣悪な環境下で社員に重労働を強いた結果、退職者続出で数年間泣かず飛ばずの状態が続きました。

2度目の倒産危機：大阪事業所で個人情報漏洩事故発生

社員数名がNxxの仕事の一部である電話番号管理システム維持管理において業務効率化の一心で個人情報ユーザーの許可なしに自社に持ち帰り大阪事業所全員で業務に対応した結果、個人情報漏洩に至りNxxグループ全てと取引禁止状態となる。

当時、弊社の売上げ7割はNxxグループに依存していたため3年間で1億円以上の赤字計上を余儀なくされました。

—まさか—

2016年4月結腸壊死のため会社で倒れ救急車で東京共済病院に搬入されましたがG.W.初日であり専門医が不在のため痛み止めの点滴を受けていましたが壊死が進行しショック状態となり当院では治療不可と判断され、急遽、帝京大学附属病院板橋に再度救急搬送されました。その際に妻には執刀医から「今この状態で生きることが不思議。これから緊急手術を行いますが、途中で死ぬこともあり得る。」と宣告されたようです。結局、人工肛門装着に至りました。半年後人工肛門閉鎖手術を受け何とか人工肛門生活から抜け出すことができました。



その当時の私

2017年頃再生の予兆

現在は売上高純利益率は20%程度に回復しました。

■私とボートそして仲間

何が何だか分からず理工漕艇部に入部しましたが、その時の主将は岡崎さん、その下に棚田さん、山中さん、さらにその下に下遠野さん、山口さん、橋本さん、同期に荻野君がいました。

1年の冬に岡崎さんの内定先YAMAHA浜松工場で1ヶ月間アルバイトをして貯めたお金で岡崎さん、山中さん、橋本さんと私で沖縄本島、石垣島、西表島に10泊程度の日程で旅行に行った記憶がありません。

中央大学を卒業して既に40年が経ちます。思い出も忘れかけていますが、以下が私の思い出です。

—思い出1—

1年の頃に下遠野さんの同期がフライ後合宿所に戻らず退部しようとした際に、当時の主将岡崎さんと下遠野

さんが、退部見込み者の先輩の住まいの最寄り駅、1枚の自宅からの撮ったと思われる写真のみで「自宅を探して首に縄を付けても連れ戻して来る。」と言って出っ行く後ろ姿を見て驚きました。

何と岡崎さんの手には本当に縄がありちゃんと翌日退部見込み者は合宿所に戻って来ました。

－思い出 2－

岡崎さんが NIKE のシューズが欲しいと言うことで朝練の後、自転車で近くのスポーツ洋品店に岡崎さんを自転車の後部に乗せ連れていきました。朝練で疲れて学校に行かず TV を見ていた所、岡崎さんは購入した NIKE シューズがお気に入り「矢部暇ならコース 1 周ランニング付き合え。」と昼練との間にコース 1 周付き合わされました。

－思い出 3－

この思い出はもう時効だと思うので告白します。

1 年上の橋本さんと私は合宿中でありながら喫煙者でした。当然漕艇部は禁煙です。

橋本さんの提案で昼間の時間に合宿所と遠くに見えるサンシャインとの間の荒川土手に穴を掘り、タバコ、ライターを埋め夜間に 2 人で吸いに行こうと思っていましたが、夜間になるとタバコ、ライターを埋めた場所は様変わりし埋めた場所が分からず、「矢部、どこに埋めたんだよ？」と言って 2 人で 30 分探して見つからずあきらめた記憶があります。

－思い出 4－

何年の時が定かではありませんが、当時戸田にお住いの深堀さんに指導をして頂いておりましたが、朝練は

起床 4 時、「起床一!!」で即艇庫前に出るようにしていましたが、深堀さんは 4 時には既に艇庫前に現れており、私どもが出て行くと「3 分遅刻。コース 1 周。」と言われ朝練の乗艇前にコース 1 周タイムトライアルをするありさまでした。深堀さん、熱心なご指導ありがとうございます。

深堀さんは厳しい指導者でしたがご自身が結婚した当時、荻野君、私を自宅に招いて頂き奥様の豪華な食事、酒を振舞って頂き終始漕艇理論を熱く語り、ボートに対する想いに痛感しました。

4 年間のボート部生活後はボートとは全くの関りを持ちませんでした。

結腸壊死の退院後、妻に勧められ両親の墓参り行った巢鴨で妻にボート競技の話をしたところ、全くボートのことを知らないとのことで戸田ボートコースへ行きました。写真を撮り、岡崎さんにその写真を送ったところ、PENTA 練習に誘われさらに理工ボート部 OB 会に参加し何度かレガッタにも参加させて頂きました。





戸田オリンピックボートコースにて各大学OBレガッタ(2番が私)

ボートに限らずゴルフも一緒にさせて頂きました。



GDO 茅ヶ崎ゴルフリンクス(旧茅ヶ崎ゴルフ倶楽部)岡崎さん、下遠野さん、私

大学時代のボートを通して縦の繋がり、横の繋がりを持って先輩後輩を問わず、仲間を持てたのは山口さんの強引な勧誘の賜物でしょう!!

繋がり、絆を持ち続けることは自分自身の最大の財産です。

この寄稿が中央大学理工漕艇部現役、OBOG会の皆様の積極的かつ継続したボートと言うスポーツそして仲間との繋がりの一助になれば幸いです。理工ボート部最高、仲間最高!!

以上